

日本芸術文化振興会ニュース

Japan Arts Council News

／ PICK UP ／

東京
国立劇場
(大劇場)



初代国立劇場
さよなら公演

10月歌舞伎公演

10月1日(土)～26日(水)※6日(木)・17日(月)は休演
 (12時開演/17時開演/18時開演)
 料金 12,000円(1等席)・8,000円(2等席)・
 3,500円(3等席)※セット割引料金あり(下記参照)
 販売 好評発売中

令和4年度(第77回)文化庁芸術祭オープニング/
 令和4年度(第77回)文化庁芸術祭主催公演/国際音楽の日記念

通し 義経千本桜
 狂言

【Aプロ】二段目
 伏見稲荷鳥居前の場
 渡海屋の場
 大物浦の場

【Bプロ】三段目
 下市村椎の木の場
 下市村竹藪小金吾討死の場
 下市村釣瓶酢屋の場

【Cプロ】四段目
 道行初音旅 清元連中
 河連法眼館の場 竹本連中

〈出演〉
 尾上 菊之助
 坂東 彦三郎
 中村 梅枝
 中村 萬太郎
 市村 竹松
 中村 米吉
 市村 光
 尾上 丑之助
 市村 橘太郎
 上村 吉弥
 河原崎 権十郎
 中村 錦之助
 中村 又五郎
 中村 時蔵
 坂東 楽善
 尾上 菊五郎

ほか



※主な配役は公演ホームページまたはチラシをご参照ください。

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月祝	火	水	木
開演時間	12:00	C	A	B	A	B	休演	A	A	B	A	B	B
	17:00	—	—	—	—	—	—	—	B	C	—	—	—
	18:00	—	—	—	—	—	—	—	C	—	—	—	—
10月	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
開演時間	12:00	A	A	B	休演	C	B	C	A	B	C	A	B
	17:00	B	C	C	—	—	A	—	—	A	—	—	—
	18:00	—	—	—	—	—	—	—	C	—	—	—	—

◎予定上演時間(休憩を含む)

Aプロ:約3時間20分 Bプロ:約3時間30分 Cプロ:約2時間40分

※3セット割引料金:(A+B+C同時購入のみ) 1等席33,000円 2等席22,500円

東京
国立劇場
(小劇場)



初代国立劇場
さよなら公演

10月邦楽公演

「邦楽名曲選Ⅰ 飛鳥～平安」

10月8日(土)13時開演(15時35分終演予定)
 料金 5,000円
 販売 好評発売中

箏 地曲歌
 尺八 三絃 箏
 芦垣泉盟 藤本昭子 遠藤千晶
 囃子 三味線 唄
 望月左武郎 稀音家祐介 杵屋直吉
 ほか
 新青柳 しんあおやぎ
 長唄 船弁慶 ふなべんけい
 浄瑠璃 都了中
 三味線 都一中
 ほか
 一節 用明天皇道行 ようめいてんのうみちゆき
 清元 掛合 喜撰 きせん
 浄瑠璃 清元延初磨
 三味線 清元紫葉
 唄 杵屋秀子
 三味線 杵屋三澄
 囃子 藤倉呂英
 ほか

東京
国立能楽堂

11月定例公演 ◎演出の様々な形

「樋の酒」「天鼓 呼出・楽器」

11月18日(金)17時30分開演(19時45分終演予定)
 料金 5,000円(正面)・3,300円(脇正面)・3,000円(中正面)
 販売 《電話・インターネット予約》10月10日(月・祝)午前10時より
 《窓口販売》10月11日(火)より

令和4年度(第77回)文化庁芸術祭協賛公演

◎演出の様々な形

11・12月と二ヶ月にわたり同一作品を違った演出でお楽しみいただくシリーズです。

狂言【和泉流】

樋の酒 高野和憲

能【宝生流】

天鼓 呼出・楽器 朝倉俊樹

【樋の酒】米蔵と酒蔵の番を命じられた家来二人は、樋を巧みに使い酒盛りを始めます。流儀・家による樋の形や用い方の違いにも注目です。

【天鼓】少年天鼓は、帝の命に背き川へと沈められます。管絃講で唄われた天鼓の霊は鼓を奏で、楽を舞うのでした。今月は宝生流に伝わる「呼出」、間狂言が常と替わる「楽器」の小書で上演します。



チケット
お申込み

国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場
 ☎ 0570-07-9900/03-3230-3000[一部IP電話等](10時～18時)
 国立劇場チケットセンター 検索

新国立劇場 ☎ 03-5352-9999 (10時～18時)

新国立劇場 検索

国立劇場おきなわ ☎ 098-871-3350 (10時～17時30分)

国立劇場おきなわチケットカウンター 検索

東京			大阪			東京			沖縄		
チケットお申込み			チケットお申込み			チケットお申込み			チケットお申込み		
0570-07-9900 (10時～18時)			0570-07-9900 (10時～18時)			03-5352-9999 (10時～18時)			098-871-3350 (10時～17時30分)		
初代国立劇場／国立演芸場さよなら公演			各劇場の主催公演			新国立劇場			国立劇場おきなわチケットカウンター		
検索			検索			検索			検索		
10月			10月			10月			10月		
国立劇場			国立文楽劇場			新国立劇場			国立劇場おきなわ		
大劇場			文楽劇場			オペラバレス			大劇場		
小劇場			小ホール			中劇場			小劇場		
1 土	12:00 C	藤間章作先生を偲ぶ会 03-3847-6362	1 土		第3回ましろ会 06-6541-0007	1 土		13:00 演劇公演 海外招聘公演 19:00 「ガラスの動物園」(9月28日～10月2日)	1 土		上原麻美独演会 ～一花 いちか～ 080-1781-3204
2 日	12:00 A	第61回 銀玲会 03-3412-5508	2 日	花柳流花弘会 0798-71-7722	光の会 072-955-0126	2 日	14:00		2 日	君子の舞台 平素のごとく 090-5921-6318	
3 月	12:00 B	旭日双光章受章記念 清元演奏会	3 月			3 月	休演日		3 月		
4 火	12:00 A		4 火			4 火	休演日		4 火		
5 水	12:00 B		5 水			5 水	17:00		5 水		
6 木	休演日		6 木			6 木	休演日	オペラ公演 「ジュリオ・チェウザレ」 〈新制作〉	6 木	18:30 第6期組踊研修生 第5回研修発表会「銘苺子」	
7 金	12:00 A 18:00 C		7 金			7 金	休演日		7 金		
8 土	12:00 A 17:00 B	歌舞伎公演 「義経千本桜」 (1日～26日) ※6日(木)、17日(月)は 休演 13日(木)は貸切	8 土			8 土	14:00		8 土	琉球舞踊 玉城盛義の会 090-3074-8295	
9 日	12:00 B 17:00 C		9 日	一扇会 06-6678-6669	上方舞竹村流 秋の会 047-473-3478	9 日	休演日		9 日		
10 月	12:00 A		10 月	第4回 三輪貴宝の会 090-2105-5172	錦心流琵琶 秋季演奏会 072-851-3840	10 月	14:00		10 月		
11 火	12:00 B		11 火			11 火			11 火		
12 水	12:00 B		12 水			12 水			12 水		
13 木	貸切	【Aプロ】二段目 伏見稲荷島居前の場 渡海屋の場 大物浦の場	13 木			13 木			13 木		
14 金	12:00 A 17:00 B		14 金			14 金			14 金	18:30 研究公演 「朝薫五番と からくり花火」	
15 土	12:00 A 17:00 C	【Bプロ】三段目 下市村権の木の場 下市村竹藪小金吾討死の場 下市村釣瓶軒屋の場	15 土	13:00 東西名流舞踊鑑賞会 16:00		15 土			15 土	18:30	
16 日	12:00 B 17:00 C		16 日	花柳友章舞踊会 0797-73-1888	旭堂南照独演会 五代友厚を語る 秋の恒例 桂文我独演会 090-1414-9883	16 日			16 日	18:30 (※会場は劇場横・組踊公園)	下地智子独演会 「練子のかたち」 080-3960-8925
17 月	休演日		17 月			17 月			17 月		
18 火	12:00 C	【Cプロ】四段目 道行初音旅 河連法眼館の場	18 火			18 火			18 火		
19 水	12:00 B 17:00 A		19 水	嵐山瞳太郎 特別公演 090-3141-8050		19 水			19 水		
20 木	12:00 C		20 木			20 木			20 木		
21 金	12:00 A 18:00 C		21 金			21 金	19:00		21 金		
22 土	12:00 B 17:00 A		22 土			22 土	13:00 18:00		22 土	志の輔らくご in国立劇場おきなわ 090-3074-8295	
23 日	12:00 C		23 日			23 日	14:00		23 日		
24 月	12:00 A		24 月			24 月	休演日		24 月		
25 火	12:00 B		25 火			25 火	休演日	バレエ公演 新国立劇場 開場25周年記念公演 「ジゼル」 〈新制作〉	25 火		
26 水	12:00 C		26 水			26 水	休演日		26 水		
27 木		錦秋四景 03-6277-7403	27 木			27 木	14:00		27 木		
28 金			28 金			28 金	19:00		28 金		
29 土		第65回 日本小唄連盟 大演奏会 03-5641-0830	29 土			29 土	13:00 18:00		29 土	14:00 企画公演 喜劇「トートーメー万歳」	
30 日		秋季三曲名流演奏会 03-3585-9916	30 日			30 日	14:00		30 日	14:00	
31 月			31 月			31 月			31 月		

今月の注目はこちら

PICK UP

国立演芸場

令和4年度(第77回)文化庁芸術祭協賛公演
初代国立演芸場さよなら公演

第40回 国立名人会 10月23日(日)午後1時開演 (16時終演予定)

落語 「三方一両損」	柳 家 さん助
落語 「片棒」	古今亭 志ん陽
落語 「龍馬伝」	三遊亭 圓 歌
落語 「一 仲入り」	
落語 「大師の杵」	春風亭 勢 朝
粹 曲	柳 家 小 菊
落語 「中村仲蔵」	柳 家 さん喬

料金 3,300円 (一般) 2,300円 (学生) 販売 好評発売中

国立文楽劇場

令和4年度(第77回)文化庁芸術祭主催公演
第40回舞踊公演 **東西名流舞踊鑑賞会** 10月15日(土)

第一部:13時開演 (15時10分終演予定)／第二部:16時開演 (18時5分終演予定)

【第一部】	【第二部】
清 元 船 頭 猿 若 清三郎	長 唄 島の千歳 中 村 梅 彌
地 歌 水 鏡 榎茂郎 梅咲弥 上方唄	三 国 一 吉 村 輝 章
長 唄 連獅子 若 柳 壽 延	吉 村 輝 之
地 歌 山 姥 山 村 友五郎	清 元 保 名 花 柳 寛十郎
	長 唄 葵の上 井 上 八千代

料金 6,500円 販売 好評発売中

新国立劇場

令和4年度(第77回)文化庁芸術祭主催公演
新国立劇場開場25周年記念公演

◀演劇「レオポルトシュタット」▶

料金 S席8,800円／A席6,600円／
B席3,300円／Z席(当日のみ)1,650円
販売 好評発売中

▶バレエ「ジゼル」▶

料金 S席14,300円／A席12,100円／
B席8,800円／C席6,600円／
D席4,400円／Z席(当日のみ)1,650円
販売 好評発売中

10月14日(金)～31日(月)

10月21日(金)～30日(日)

国立劇場おきなわ

令和4年度(第77回)文化庁芸術祭協賛公演
企画公演
喜劇「トートーメー万歳」

10月29日(土)、30日(日)14時開演

本土復帰50周年の節目に、大城立裕作品の中から傑作喜劇を上演します。かつて、沖縄芝居実験劇場にて幸喜良秀演出により何度も上演を重ねた本作は、間好子、兼城道子、北島角子、伊良波晃、北村三郎ら、今は亡き名優たちの迫真の演技で好評を博しました。今回は監修に幸喜良秀氏、演出に嘉数道彦氏を迎え、新しいキャストで、新たな沖縄芝居の魅力を探ります。

料金 3,500円 販売 好評発売中

展示情報

(伝統芸能情報館 (国立劇場敷地内))

入場展 「いざ、歌舞伎」
開催中・10月26日(水)まで



歌舞伎は四百年以上の歴史の中で、各時代の役者、狂言作者、職人、そして観客が力を合わせて創り上げた、知恵と美意識の結晶といえるものです。本展は

初めて歌舞伎をご覧になる方や歌舞伎についても少し深く知りたい方にも、基本的な約束事やその味わい方をわかりやすくご紹介します。10時～18時 (10月19日(水)は20時まで) 開室、10月休室日：なし
☎03-3265-7061(直)

国立演芸場 (1階演芸資料展示室)

企画展「曾我廼家五郎」「喜劇」の誕生
開催中・11月23日(水・祝)まで



明治末期に上方喜劇の礎を築き、大正から昭和期には日本の喜劇王として君臨した曾我廼家五郎。彼の作品や上演は、現在の松竹新喜劇の人情喜劇の系譜

に継承されているとはいえ、その名を知る人は少なくなりました。本展示では、国立劇場所蔵の遺品を中心に曾我廼家五郎の生涯と業績をたどります。10時～17時開室、10月休室日：21・24・27・31日
☎03-3265-7061(直)

国立能楽堂 (1階資料展示室)

11時～17時開室、休室日：月曜日(祝日の場合は火曜日休室)
☎03-3423-1331(代)

企画展「秋の風 能楽と日本美術」

開催中～10月21日(金)まで

「日本博」の総合テーマ「日本人と自然」に沿った「能楽と日本美術」に関する展示の3回目となる今回は、秋をモチーフとした能装束・楽器、絵画・美術工芸品を取り上げます。珠玉の日本美術の数々をお楽しみください。

特別展「柴田是真と能楽 江戸庶民の輝度」
10月29日(土)～12月23日(金)

幕末の町蒔絵師・町絵師で、明治時代には国内外の博覧会・展覧会でも活躍し、最初の帝室技芸員にも任命された柴田是真(1807～1891)と能楽の関係に初めて光を当てるとともに、海外で極めて高い評価を受ける是真作品も併せて展示します。

国立文楽劇場 (1階資料展示室)

企画展示「文字で見る文楽の世界」
10月15日(土)～11月27日(日)

浄瑠璃作品の本文がすべて書かれた丸本、太夫が味で語る時に用いる床本、義太夫節ファンが自分でも語るために買い求めた稽古本、舞台の見どころを絵で示した絵尽し、人形浄瑠璃文楽は、「文字」の形でも広く大衆に享受されてきました。本展示では、それら文字で書かれた資料から文楽をご紹介します。文字資料を読むことによって、文楽の新たな魅力に触れていただきます。10時～18時開室、10月休室日：なし
☎06-6212-2531(代)

入場無料！
伝統芸能を
さらに深く
学べます。

文化芸術活動に対する援助

独立行政法人日本芸術文化振興会では、芸術文化振興基金の運用益による助成事業と、国からの補助金（文化芸術振興費補助金）を財源とする助成事業を行っています。

令和5年度 助成対象活動募集が始まります！ 詳しくはこちら



◆基金の目的

「芸術文化振興基金」は、すべての国民が芸術文化に親しみ、自らの手で新しい文化を創造するための環境の醸成とその基盤の強化を図る観点から、芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術の創造又は普及を図るための活動、その他の文化振興又は普及を図る活動に対する援助を継続的・安定的に行います。

当基金は、政府から出資された541億円と民間からの出せん金165億円の計706億円を原資として、その運用益をもって文化芸術活動に対する助成に充てています。

◆助成対象活動の募集

助成対象活動の募集は、毎年度1回（国内映画祭等の活動は年2回）、公募により行います。具体的な募集の時期・方法、助成の対象となる活動等については、毎年度作成する募集案内で示します。

助成金の交付を希望する団体は、募集案内の定めるところにより、助成金交付要望書及び団体概要等を独立行政法人日本芸術文化振興会に提出いただきます。

◆助成対象活動の決定・助成金の交付

芸術文化振興基金運営委員会において応募活動に対する審査を行い、助成対象活動及び助成金の額が決定されます。採択された助成対象活動については、「芸術文化振興基金助成金交付要綱」の定めるところにより、所定の手続きを経て助成金が交付されます。

助成の対象となる活動	電話番号
音楽	03-3265-6338
舞踊	03-3265-6192
演劇	03-3265-6178
伝統芸能・大衆芸能	03-3265-6394
多分野	03-3265-6045
美術の創造普及活動	03-5213-4175
映画	03-3265-6312
地域文化施設公演・展示活動 （文化会館公演）	03-5213-4169
地域文化施設公演・展示活動 （美術館等展示）	03-5213-4174
アマチュア等の文化団体活動	03-5213-4164 4167
歴史的集落・町並み、文化的景観 保存活用活動	03-5213-4172
民俗文化財の保存活用活動	03-5213-4172
伝統工芸技術・文化財保存技術の 保存伝承等活動	03-5213-4172
劇場・音楽堂等機能強化推進事業	03-3265-6018

芸術文化振興基金ご支援（寄附）のお願い

芸術文化振興基金は、芸術・文化の振興又は普及を図るための活動に対する援助を継続的、安定的に行うことを目的として設立され、その運用益により、芸術文化団体等の活動に助成しています。皆様のご支援を頂きながら、活動を行っています。

趣旨にご賛同頂き、格段の御協力、御支援をお願いいたします。



渡部葵



鈴木麻里

能「枕蓑童」でワキツレを勤めます。舞台上に座らせて頂くことは、流儀の先生また他の各役の先生の息遣いを直に感じて、普段の研修では稽古できない多くのことを学ぶ機会となりま

す。今回の青翔会を皆さまへの発表の場であるとともに、修行の場として懸命に勤めますので、

第29回青翔会に向けての抱負・メッセージ

能「枕蓑童」でワキツレを勤め、職に人生を捧げたいと思い、研修に応募いたしました。

第12期能楽（三役）研修生 応募受付中
国立能楽堂企画制作課養成係 ☎ 03-3423-1483（直通）
（10時～18時（土日祝日・年末年始を除く））
✉ kenshu12noh@ntj.jac.go.jp



▶詳細・応募書類の様式はこちら！

研修生募集動画もあわせてご覧ください▶



第29回青翔会 好評発売中
10月18日（火）13時開演
於：国立能楽堂
舞囃子 経政（宝生流） 朝倉大輔
舞囃子 杜若（喜多流） 高林昌司
舞囃子 七騎落（観世流） 久田勤吉郎
能 枕蓑童（金春流） 本田布由樹
★詳しくは国立能楽堂ホームページをご覧ください。

第12期能楽（三役）研修生ショートインタビュー
— 第29回青翔会出演に向けて —
渡部葵（専攻：宝生流ワキ方）
基礎研修課程の最終年度で感じていることは？
ワキ方の研修でご指導いただくのは、何よりも下掛宝生流の基礎基本を身につけ稽古していくということ。基礎研修課程を修了した専門研修においても、その先でも、これを変わらない教えとして稽古に励みます。

出演となりますが、前回の舞台よりもより良いものを目指し、また次の段階に向けた重要なステップとして、頂いたお役を一杯勤めて参りたいと思います。

研修だより

日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、歌舞伎、文楽、能楽、大衆芸能、組踊の各分野で研修を行っています。

未来へつなぐ国立劇場プロジェクト

多くの皆様にご愛顧いただいてまいりました
国立劇場、国立演芸場、伝統芸能情報館は、
再整備のため令和5年10月末に一旦閉場・閉館し、
令和11年秋に新施設として生まれ変わります。

COMING SOON!

▶11月歌舞伎公演「歌舞伎&落語 コラボ忠臣蔵」

落語家・春風亭小朝による「忠臣蔵」にちなむ落語と、中村芝翫が
約30年ぶりに早野勘平に挑む『仮名手本忠臣蔵』五・六段目。
〔電話・インターネット予約〕10月13日(木)10時より
〔窓口販売〕10月14日(金)より

▶12月文楽公演『本朝廿四孝』

息をもつかせぬ一大史劇！戦国大名の勢力争いを題材にした壮大
なスケールの名作より二段目・四段目を中心に上演。

▶12月文楽鑑賞教室『絵本太功記』

初めて文楽の舞台にふれる方も安心の解説付き。文楽の魅力が詰
まった名作『絵本太功記』『夕顔棚の段』『尼ヶ崎の段』を上演。

▶国立演芸場でも「初代国立演芸場さよなら公演」と題して上席・
中席・特別企画・名人会など魅力ある舞台をお届けします。

「知らざア言って聞かせやしょう」「お釈迦さまでも気がつく
めえ」——人々に親しまれてきた珠玉の名ぜりふを集め、国立
劇場所蔵の色鮮やかな錦絵で彩った「歌舞伎名ぜりふかるた」
が、愛蔵版として生まれ変わります！

今回は、かるた製造の老舗・京都の大石天狗堂に特注。金銀
砂子が散りばめられた上質の越前和紙を用い、昔ながらの技法
で一つ一つ丁寧に裏貼りが施された重厚な絵札と字札。格調高
い装丁で仕上げられた美しい化粧箱。みんなで遊んでもよし、
飾って楽しむもよし。世界に一つだけ、初代国立劇場さよなら
記念ならではの逸品です。今年10月に数量限定で販売開始。
永久保存版としてぜひお買い求め
ください。

価 格 定価10,000円
(限定800組)
発売日 令和4年10月1日(予定)



動画配信のお知らせ

▶国立劇場ぐるごちゃんねる 第11回

講 座 名 第84回伝統芸能講座
「喜劇の伝統——曾我廼家喜劇から松竹新喜劇、そして未来へ」
講 師 曾我廼家寛太郎(松竹新喜劇)、日比野啓(成蹊大学教授)
販売期間 9月30日(金)10時～10月31日(月)23時59分(予定)
視聴料金 1,000円(税込) **配信サイト** MIRAIL(ミレール)

▶国立劇場ぐるごちゃんねる 第12回

演 目 令和4年9月文楽公演
(①碁太記白石断 ②寿柱立万歳/碁太記白石断 ③奥州安達原)
出 演 人形浄瑠璃文楽座 ほか
販売期間 ①10月8日(土)～②10月15日(土)～③10月22日(土)～ 各16日間
※視聴期間は、チケットご購入日から2週間です
視聴料金 ①～③各3,000円(税込) **配信サイト** MIRAIL(ミレール)

▶《国立文楽劇場》文楽プレミアムシアター 第6回

演 目 「桂川連理棚」六角堂の段・帯屋の段(昭和51年3月 国立劇場)モノクロ
出 演 竹本越路太夫(四代)、竹澤弥七(十代)、吉田玉男(初代)、
豊松清十郎(四代)、吉田養助(三代)、吉田文雀 他
販売期間 10月1日(土)11時～10月21日(金)23時59分
※視聴期間は、レンタル日から2週間です。
視聴料金 2,500円(税込) **配信サイト** MIRAIL(ミレール)

詳細はホームページをご確認ください。



「日本博」は、総合テーマ「日本人と自然」の下
に、日本の美を体感する美術展・舞台芸術公演・
芸術祭などを、年間を通じ、全国各地で展開して
います。https://japanculturalexpo.bunka.go.jp

障害者の文化芸術創造拠点形成プロジェクト

日程 10月1日(土)、2日(日)(全3回)
会場 東京芸術劇場プレイハウス

日本・アジアで活躍する振付家、プロのダンサーと障害
のあるダンサーが協働する大型ダンスプロジェクト
「Breakthrough Journey」を上演する(鑑賞サポートあり)。



撮影：富田了平

令和の万葉大茶会2022鳥取大会

日程 10月15日(土)
会場 鳥取市因幡万葉歴史館、宇倍神社、
ホテルニューオータニ鳥取

万葉集の編纂者・大伴家持の父である大伴旅人が、自身の邸宅
で催した和歌に興じる酒宴、通称「梅花の宴」を現代風にお茶
会形式で再現する。

上賀茂神社笠懸神事

日程 10月16日(日)
会場 上賀茂神社 ※ライブ配信実施

上賀茂神社の笠懸は日本で唯一、笠懸を神事として奉納
している伝統文化である。笠懸に加え、笠懸講座・馬場
見学会、射手との交流会も実施予定。

騎射/大日本弓馬会・武田流/上賀茂神社



ヨルZEN(禅) —自然と共生する日本—

日程 10月15日～10月30日(24日・25日を除く)
17時45分～20時まで
会場 京都 大本山 建仁寺

夜の京都、大本山 建仁寺。貴重な文化財に、キヤ
ノンが先進の映像技術で描く自然への畏敬、自然と
の共生。期間・人数限定で特別に展示します。



文化芸術活動を未来へ継承するため、 2つの基金にご寄附をお願いいたします！

●文化芸術復興創造基金

日本の多彩な文化芸術団体の活動を支援します。
「舞台芸術・美術等」「地域文化」「文化財」「映画芸術」
を応援できます。

- お問合せ先 基金部企画調査課
- 電 話 03-3265-6302(平日10時～18時)
- E-mail kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp



復興創造基金の
ご案内ページはこちら！



●くろごちゃんファンド(国立劇場基金)

日本の伝統芸能を未来へつなぐ、国立劇場各館
を応援！様々な伝統芸能公演や、伝承者の養成、
調査研究等を応援できます。

- お問合せ先 くろごちゃんファンド寄附担当
- 電 話 03-3265-6719(平日10時～18時)
- E-mail donation@ntj.jac.go.jp



くろごちゃんファンドの
ご案内ページはこちら！

「伝統芸能の明日をにう、国立劇場の研修生にご支援を！」

国立劇場の養成研修生を支援するためのクラウドファンディングを行っています。
●実施期間：令和4年10月30日(日)まで
●詳細は「国立劇場 レディーフォー」で検索 または
☎ 03-3265-6719(平日10時～18時)まで

日本芸術文化振興会ニュース 令和4年10月号

令和4年9月20日発行(毎月1回20日発行)
通巻651号(昭和43年5月1日創刊)
発行 独立行政法人日本芸術文化振興会
〒102-8656
東京都千代田区千代田 4-1
☎ 03-3265-7411(代表)
https://www.ntj.jac.go.jp
印刷 勝美印刷株式会社

- 国立劇場・国立演芸場・伝統芸能情報館
〒102-8656 東京都千代田区千代田 4-1 ☎ 03-3265-7411(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/
- 国立能楽堂
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1 ☎ 03-3423-1331(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html
- 国立文楽劇場
〒542-0073 大阪府大阪市中央区日本橋 1-12-10 ☎ 06-6212-2531(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/bunraku.html
- 新国立劇場
〒151-0071 東京都渋谷区本町 1-1-1 ☎ 03-5351-3011(代表) https://www.nntt.jac.go.jp/
- 国立劇場おきなわ
〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客 4-14-1 ☎ 098-871-3311(代表) https://www.nt-okinawa.or.jp/

■本誌掲載の公演・イベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催を中止・変更する場合がございます。最新の情報は各ホームページ等でご確認をお願いいたします。
■本誌面は日本芸術文化振興会のホームページでもご覧いただけます。